

新時代への責任と決断

名取市議会議員

吉田 良の 名取市政ビジョン

第17号



ともに考えよう、 仙台名取合併構想

第12回ゲスト

前仙台市議会議員

屋代美香 氏



吉田 良

仙台生まれ。仙台南高等学校、東京音楽大学卒業。みどり台中学校など県内の中・高等学校に勤務。平成26年まで学習塾経営。現在、名取市議会議員(2期)、財務常任委員会副委員長、民生教育常任委員会委員、名取市民合唱祭実行委員会顧問、混声合唱団せせらぎ指揮者。著書に『日本列島修復論』など。

11月25日(金) 10:00

(吉田)お父様の光一氏は第41代仙台市議会議長を務められました。

(屋代氏)議長に在任中の平成元年、仙台市は政令指定都市に移行しました。

前年に泉市・秋保町・宮城町が仙台市と合併しています。当時の印象的な出来事はありますか。

一時、議員の数が東京都議会よりも多くなり、議場に入り切れなくなりました。当時の石井市長と対峙する場面が多かったと、父から聞かされました。

仙台市と名取市の合併構想は、平成7年に名取市議会で否決されました。

ゼネコン汚職事件がなければ、名取市も合併していたと思われます。もし合併していたら、地下鉄は名取の西側の地域へ延びることになり、仙台空港までつなぐこともできたのではないかと聞いたことがあります。

旧泉市、特に泉中央駅周辺は開発が進んで、さま変わりしました。

当時、七北田の農協の預金残高が日本一になったそうです。土地がどんどん売れた農家の方たちが預け入れたのでしょう。市役所と徳洲会病院以外に大きな建物はなかった地域に、突然「砂漠の蜃気楼」が現れたような気がしました。

※12月議会で否決

名取市政は今、南を向いて、仙南13市町による消防指令業務共同運用に乗ろうとしています。

都市部と農村部とでは、火災の種類も違ってきます。また大規模災害発生時は通行が遮断されることもあるため、地形を見て連携しておくことが重要ではないかと思えます。海側の2市2町は平野でつながっていることから、本来は仙台圏であると思えます。

4病院の連携・統合は自治体間競争のように見えます。同じ自治体内なら別の道もあったかと。

労災病院は患者も多く、移転後どうなるのか不安です。名取には日赤が来るようですが。

精神医療センターの移転は、利用者にとって大変な負担になるとの指摘があります。統合ありきで3病院を4病院に変更したために、新たな問題に直面してしまいました。

震災の後、避難所運営のお手伝いをしていた際、変わった様子の女性が何度も来ていました。看護師の方が、薬が切れているのだと気づいたのですが、本当に大変なのだ実感しました。

地域の発展と住民福祉の向上のために、連携して活動できる機会を願っています。

名取から、地方分権と道州制移行の加速化を！ 吉田良後援会は会員を募集しています

- ◎ 事務所 〒981-1231 名取市手倉田字八幡165-32西
- ◎ TEL 090-3368-1771 FAX 022-774-1771
- ◎ ツイッター・ライン @ryoyoshida1771
- ◎ ホームページ <http://www13.plala.or.jp/ryokoenkai>
後援会入会申込みは二次元コードから▶



令和5年1月7日 発行 討議資料



夏の議員インターン受入れ

会派で新潟県内3市を視察し、市内制施行記念式典に出席しました。増田神業に協力しました。八幡南町内会清掃奉仕、八幡南町内会共同清掃に参加しました。



ナイトライブラリー

9月、なとりまなびフェスティバル22(前編)に出席しました。大手町1丁目の名取を結ぶ会オンライン交流会に参加しました。



民生教育常任委員会行政視察

8月、令和4年7月豪雨で決壊した大崎市の川を視察しました。Mガサガサ体験の運営に協力しました。姉妹都市に上山市・名取市議会議員交歓会に出席しました。



混声合唱団せせらぎ定期演奏会

7月、名取市立第一中学校内合唱コンクール。審査員を務めました。防犯指導会、仙台市消防操法指導会に参加。名取市広域行政協議会総会などに出席しました。



テノール歌手 佐藤洋一先生と

12月、翔け！名取の男女フオーラム、社会福祉法人みのり会20周年記念イベント、KPM増田川清掃、多文化トクタイムなどに参加しました。議員協議会において、校給食費無償化の対象学困拡大、手倉田くじ保園の取扱いに関する受け変更にたいして説明を受



増田神社 正月準備

12月、翔け！名取の男女フオーラム、社会福祉法人みのり会20周年記念イベント、KPM増田川清掃、多文化トクタイムなどに参加しました。議員協議会において、校給食費無償化の対象学困拡大、手倉田くじ保園の取扱いに関する受け変更にたいして説明を受



議会懇談会

11月、ふるさと名取まつり、夢サポーター事業、議会懇談会(名取が丘公民館・宮城県聴覚障害者協会、社会福祉大会、婦人防火推進大会、青少年健全育成関係者合同研修会など)に出席しました。宮城県市議会議長会議員研修会に参加しました。議員協議会において、消防指令業務の共同運用について説明を受けました。KPM増田川観察会。第3回名取市民合唱祭に出演しました。



会派行政視察

11月、ふるさと名取まつり、夢サポーター事業、議会懇談会(名取が丘公民館・宮城県聴覚障害者協会、社会福祉大会、婦人防火推進大会、青少年健全育成関係者合同研修会など)に出席しました。宮城県市議会議長会議員研修会に参加しました。議員協議会において、消防指令業務の共同運用について説明を受けました。KPM増田川観察会。第3回名取市民合唱祭に出演しました。

令和4年12月定例会 犯罪被害者等支援条例など20議案を審議

消防指令業務を宮城県南部13市町により共同運用する協議会設置のための議案に反対しました。本市の消防行政の不可逆的な大転換であるにもかかわらず、課題が十分に整理されておらず、市民の生命、身体及び財産を守るといふ消防の機能が揺らぐことが懸念される内容でした。コスト削減効果があることは確かですが、名取市消防から大河原へ5人が派遣されることによる職員の負担増加や、大規模災害発生時に対策本部との間に物理的な距離が生じることなど、弊害となる部分の想定が非常に甘いものに感じられました。採決の結果、賛成9反対10の僅差で、議案は否決されました。

名取市犯罪被害者等支援条例が可決されました。犯罪被害者等に対する総合的な支援を推進し、被害の早期軽減を図るとともに、市民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指します。犯罪被害者が直面する問題への相談や、必要な情報提供や助言を行うほか、遺族や傷病の被害を受けた市民を対象に一次支援金を支給することができるようになります。令和5年2月1日から施行されます。

令和4年度一般会計10号補正で、6か月から4歳の乳幼児を対象とする新型コロナウイルスワクチン接種に要する費用が、11号補正で、妊婦及び子育て家庭への経済的支援として妊娠届出時及び出生届出時に5万円ずつを給付する出産・子育て応援給付金の事業費が措置されました。

10月7日に開かれた臨時会において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により実施する地域応援プレミアム商品券、物価高騰対策支援事業など、緊急に予算化が必要な事業費を追加する一般会計補正予算が可決されました。

令和4年9月定例会 令和3年度決算など26議案を審議

令和3年度歳入歳出決算の審査を行いました。一般会計の歳入は436億9840万円、歳出は419億1858万円で、年度内に完了できなかった事業のための財源として6億9859万円を翌年度に繰り越します。

会派を代表し、歳入歳出決算に対する総括質疑を行いました。子ども家庭総合支援拠点事業を開始したことによる効果は「相談件数が年々増加する中で業務の効率化が図れた」、河川現況測量調査業務の進捗と課題は「市が管理する13河川について状況調査等を実施し、合計5河川で対策が必要とされた。できるだけ早期にしゅんせつ等を実施し、流下能力の向上を図ることが課題である」、子ども心のケアハウス運営事業の成果は「学校・別室教室への登校や、卒業後に高校への通学ができるようになったケースや、周りと全く関わりを持たなかった児童生徒が周りと関わりを持ちながら明るく生活できるようになったケースなどがあつた」との答弁がありました。

財務常任委員会で、天然温泉を備えたビジネスホテルからの入湯税の徴収、債券運用に係る利息、教科指導の外部講師、不登校児童生徒の健康診断、学校給食の残食対策、在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業などについて質疑しました。

令和4年度一般会計7号補正で、放課後児童クラブの児童支援員等の処遇改善のための費用が、8号補正で12歳以上の市民へのオミクロン株に対応したワクチン接種費用、5歳から11歳の市民を対象とする3回目のワクチン接種費用、中学生及び65歳以上の高齢者等の季節性インフルエンザワクチン接種の無償化(市独自)のための費用が措置されました。

- 一般質問①**
デジタル地域通貨の導入について
- 一般質問②**
小山雨水調整池の整備について
- 市は、館腰承水路の流下能力を超えるために起こる館腰承水路北側の浸水対策として、小山雨水幹線と雨水調整池を新設し、流出抑制を図るとしている。
- 館腰承水路付近の浸水対策のスケジュールは、令和4年度より承水路の通水能力の向上と逆流防止対策工事を進めており、令和5年度に完了するとともに、小山雨水幹線と小山雨水調整池の測量設計に着手し、完成後に箱塚遊水池の工事に着手する。東北本線の横断管渠は令和5年度より設計を進め、令和7年度の工事着手を予定している。浸水対策の全体としては、令和14年度の完成を目指している。
- 第一中学校南側に整備される小山雨水調整池の概要と完成までのスケジュールは、現時点で貯留量7500立法メートルを見込んでいます。令和5年度から6年度に測量・設計、7年度に工事着手を目指しており、あわせて調整池に雨水を導水する小山雨水幹線の工事を進め、令和12年度の完成を目指します。
- 小山雨水幹線の詳細は、延長325メートル、口径1000ミリから1350ミリを計画している。
- 整備による効果を住民に説明する機会を設けるとともに、少しでも早い完成を目指すべく、市のホームページにおいて広くお知らせしている。今後も適宜説明会を開催し、整備効果もお知らせするよう努める。少しでも早い完成を図れるよう、鋭意取り組んでいく。

- 一般質問①**
街路樹の管理について
- 街路樹は、道路空間に景観上の美しさを形成するだけでなく、夏の日差しを遮り、大気を浄化し、交通安全機能を高めるなど、生活環境の向上に寄与している。一方、時代の変化による市民ニーズの多様化や植栽後の年月の経過などの要因により、様々な問題が顕在化してきている。
- 市道街路樹の成長等に伴う課題は、車両や歩行者の通行の支障になる、信号機や道路標識が見えにくくなる、ムクドリなどが集結することによる騒音、根が舗装等を持ち上げる根上がり、維持管理費の増加など、街路樹の維持管理には様々な課題がある。
- 道路の落ち葉清掃を行う団体に落ち葉清掃物品を提供すべき。
- 道路の清掃には地域の皆様の協力が不可欠であることから、道路の維持管理に御協力いただける地域団体に対する清掃物品の提供について検討していく。
- 本市の街路樹は6千本を超えるため、成長を予想した上でなければ将来にわたる適切な管理は不可能である。近年、兵庫県伊丹市、仙台市、神奈川県藤沢市、東京都調布市など、街路樹に関する管理計画を策定する自治体が増えている。
- 将来にわたって街路樹の多様な機能を発揮させ、安全で快適な道路空間を維持するため、総合的な管理計画や指針を策定すべき。
- 地域の方々の意見を反映しながら維持管理を行っているが、地区や受託業者ごとに管理水準の違いが生じている。全ての地区に一定水準のサービスレベルが確保されるよう、まずは街路樹の維持管理マニュアルについて作成を検討していく。

- 一般質問③**
市長による模造銃所持画像のSNS投稿について
- 11月22日付河北新報朝刊に、市長がふるさと名取秋まつりの自衛隊の展示場所で模造銃を構える写真をSNSに投稿した事実が掲載された。
- 撮影から投稿に至る経緯、その後の対応は、自衛隊の戦闘車の前で撮影した、模造銃を構えた姿の写真を掲載したが、不快な思いをされた方がおられるということ削除した。
- 撮影は公務中の出来事との認識でよいのか。公務中である。
- 戦闘車の前で銃を構えた自らの画像で、閲覧者にどういったメッセージを伝えたかったのか。私の後ろ側に高所作業車がちょうど良い感じで写っていた。模造銃を持たない写真もあったが、構図が良かったので投稿した。
- SNS上でも経緯を説明し、お詫びを述べることが普通ではないのか。
- 私のSNSは明るい話題を伝えるために使うという考えであり、デリケートな問題をSNSで説明することは考えていなかった。
- 自衛隊による展示が適切に続けられるよう、混乱を招いたことに対して責任ある態度を示すとともに、不安をもたらさないよう説明に努めるべき。
- 実行委員会の皆様とも議論して検討していく。一方で、現下の状況において、戦闘車の前で模造銃を構えた写真はSNSに投稿したことは、適切ではなかったと反省している。

- 一般質問②**
校内合唱コンクールの上位大会について
- 本市では3つの中学校で7月に、1つの中学校で11月に、校内合唱コンクールが実施されている。
- 市内合唱愛好団体が校内合唱コンクールの上位大会を開催する場合、各学校から代表を参加させるには、どのような課題があるか。
- 上位大会への参加となると、本来の目的から外れてしまうことが懸念される。生徒が主体となり仲間と共に合唱を仕上げ、表現する達成感を味わわせることを大切にしたい。
- 民間団体が文化振興を目的として開催するイベントに、部活動ではない単位での参加の呼びかけがあった場合、学校の協力は可能か。
- 文化・芸術を振興させるために民間の団体が企画したイベントに、可能であれば学校が協力していくのは、当然のことだろうと思う。
- 一般質問③**
昭和三陸津波の標柱について
- 昭和三陸津波の標柱は、昭和8年に発生した地震による津波が到達した場所4地点に寄附金によって設置された石碑で、現存する第4号は、仙台東部道路西側の名取川右岸の堤防にある。もともと垂直に立っていたが、現在は南側に30度ほど傾いている。
- 標柱が傾いている状態を正常化し、名取市登録文化財であることを表示するなど案内板を更新すべき。
- 災害の教訓を今に伝える、貴重な登録文化財の一つである。碑の傾きや案内板への対応などについて、教育委員会と市長部局が連携し、名取川堤防のりり面部に所在していることから、河川管理者である国に相談していきたい。



「構図が良かった」写真二部ほかし